

Welcome to my town

ようこそ、このまちへ——

おもてなし隊

平安時代の武家女性の外出姿である「壺装束つぼしょうぞく」に身を包んだ「宮島おもてなし隊」。宮島を訪れる人が、快適に島内を観光でき、たくさんの楽しい思い出を作ることができるよう、「おもてなし」の向上を目的として結成。観光客への道案内や記念撮影に応じている。現在、隊員は12人。NHK大河ドラマ「平清盛」の放映に合わせて平成25年1月末まで毎日、宮島棧橋前広場や厳島神社出口周辺で活動している。写真は、隊員の小田菜穂美（おだ・なおみ）さん。「観光客の方との会話が楽しいです。宮島のことを詳しく勉強し、あらためて宮島が好きになりました。たくさんの方に宮島の良さを伝えたいです」と話してくれた。



観光客でにぎわう宮島の表参道商店街。8月3日撮影。夏場一時少なくなるが、これから秋になり、紅葉の時期を迎えるとの来島者はピークを迎える。修学旅行なども含め、昨年は、過去最高年間363万人の来島者を数えた。特に今年はNHK大河ドラマ「平清盛」の影響もあり、訪れる観光客は年間400万人を超えると予想されている。

さまざまな魅力を
持っているまち、廿日市市。
それぞれのカタチの
「おもてなし」で
我がまちの魅力を発信し続けている。

世界遺産「宮島」を有し、
年間350万人の来島者を数え、
特に今年は、
過去最高とも言われる
年間400万人を
超える勢いとなっている。

さあ、今こそ、
このまちの魅力を掘り起こそう。
あなた独自の
「おもてなし」のカタチで。

特集

「おもてなし」のカタチ——

—特集 11ページまで—